

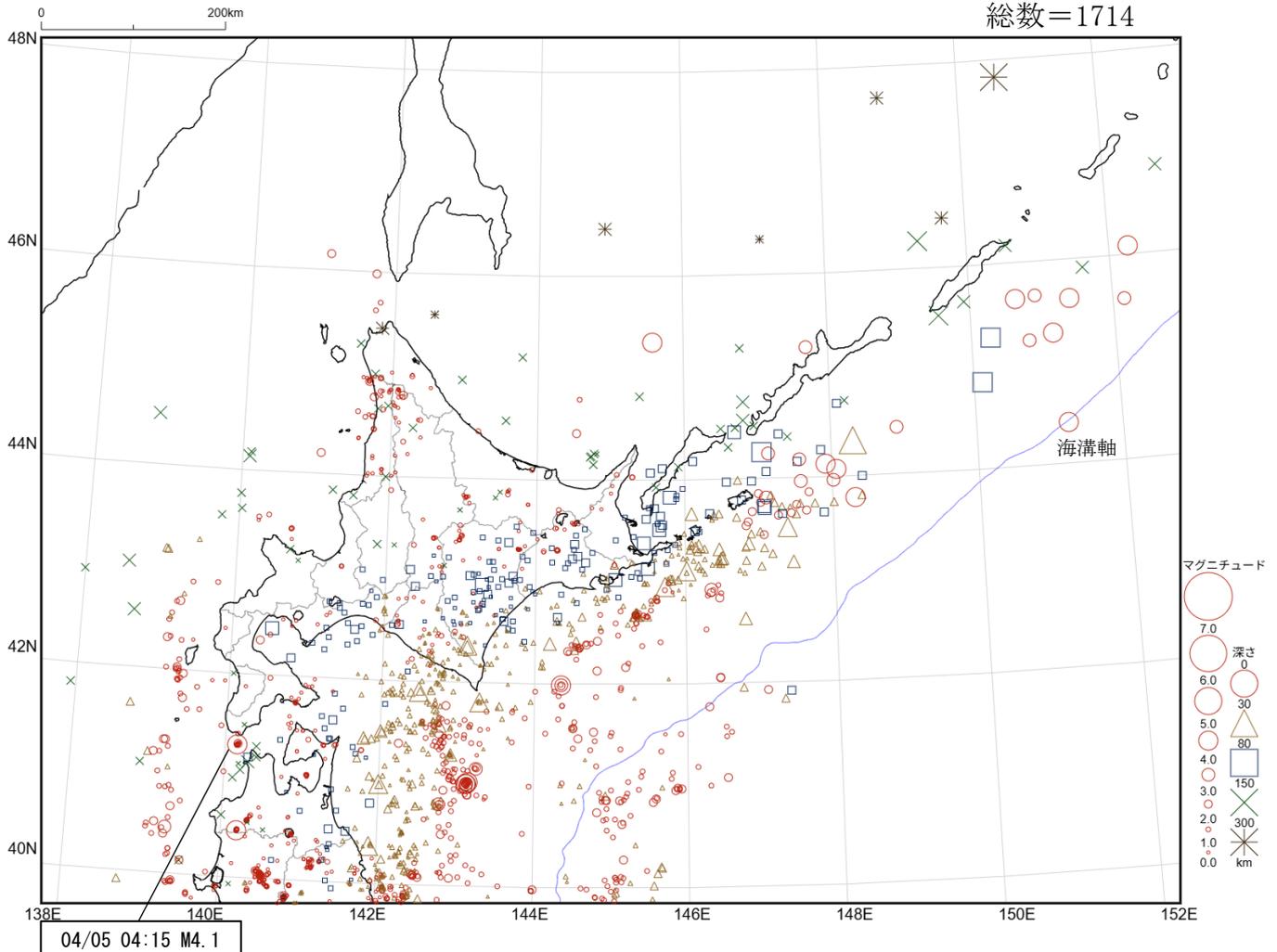
# 北海道の地震活動図

2025年4月

札幌管区気象台

## 震央分布図

総数=1714



・本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

## 地震概況（2025年4月）

この期間、北海道内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は19回（3月は20回）でした（「震度1以上を観測した地震の表」参照）。

5日04時15分、北海道南西沖の地震（M4.1、深さ10km）により、福島町で震度4を観測したほか、渡島地方、檜山地方で震度2～1を観測しました。

※情報発表に用いた震央地名は〔津軽海峡〕です。

この活動図は、札幌管区気象台のホームページに掲載しています。

[https://www.data.jma.go.jp/sapporo/jishin/earthquake\\_report.html](https://www.data.jma.go.jp/sapporo/jishin/earthquake_report.html)

この資料に関する問い合わせ先 札幌管区気象台 地震火山課 TEL 011-611-6125

# 北海道で震度 1 以上を観測した地震の表 (2025年4月)

	年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (km)	規模 (M)
1	2025年 4月 1日 釧路地方 根室地方	14時41分 震度 1 震度 1	根室半島南東沖 釧路市幸町(05) 標茶町塘路*(08) 中標津町養老牛(13) 標津町北2条*(05) 別海町本別海*(08) 根室市牧の内*(05)	42° 57.2' N	145° 43.3' E	70 km	M4.1 別海町常盤(14) 別海町西春別*(12) 根室市落石東*(10) 根室市瑤瑠*(06)
2	2025年 4月 2日 根室地方	07時04分 震度 1	根室半島南東沖 根室市瑤瑠*(08)	43° 18.8' N	146° 27.2' E	46 km	M3.7
3	2025年 4月 5日 渡島地方 檜山地方	04時15分 震度 4 震度 2 震度 1 震度 1	北海道南西沖 福島町福島*(37) 函館市泊町*(17) 渡島松前町福山(23) 渡島松前町清部(20) 知内町重内*(16) 八雲町熊石雲石町*(08) 函館市大森町*(06) 函館市川汲町*(13) 七飯町桜町(07) 七飯町本町*(09) 知内町小谷石(14) 木古内町木古内*(14) 檜山江差町姥神(09) 檜山江差町中歌町*(08) 上ノ国町湯ノ岱*(07) 上ノ国町小砂子*(14) 上ノ国町大留*(11) 乙部町緑町*(13)	41° 18.2' N	140° 09.2' E	10 km	M4.1
4	2025年 4月 5日 渡島地方	06時12分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町*(07)	40° 58.8' N	141° 59.9' E	59 km	M4.2
5	2025年 4月 6日 渡島地方	02時20分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町*(07)	41° 00.3' N	143° 07.9' E	23 km	M4.2
6	2025年 4月 6日 渡島地方	02時25分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町*(05)	41° 00.4' N	143° 07.2' E	23 km	M4.2
7	2025年 4月 13日 渡島地方 根室地方 釧路地方	18時13分 震度 2 震度 1 震度 2 震度 1 震度 1	千島列島 函館市新浜町*(15) 函館市泊町*(05) 別海町常盤(15) 根室市落石東*(15) 根室市牧の内*(09) 根室市瑤瑠*(09) 厚岸町尾幌(05) 標茶町塘路*(12) 白糠町西1条*(05)	47° 49.8' N	150° 33.1' E	418 km	M5.5
8	2025年 4月 14日 渡島地方	09時47分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町*(06)	41° 25.5' N	141° 47.1' E	67 km	M3.3
9	2025年 4月 15日 根室地方 釧路地方	07時17分 震度 2 震度 1 震度 1	根室半島南東沖 根室市落石東*(22) 根室市瑤瑠*(23) 標津町北2条*(14) 別海町常盤(07) 別海町本別海*(08) 根室市弥栄(05) 根室市豊里(11) 根室市牧の内*(14) 浜中町湯沸(05) 標茶町塘路*(08)	43° 06.3' N	146° 00.7' E	64 km	M4.3
10	2025年 4月 15日 根室地方	18時42分 震度 1	北海道東方沖 根室市落石東*(06) 根室市瑤瑠*(06)	43° 31.1' N	147° 22.7' E	58 km	M4.7
11	2025年 4月 17日 日高地方 十勝地方 釧路地方	07時16分 震度 2 震度 1 震度 2 震度 1 震度 1	十勝地方南部 浦河町潮見(17) 浦河町築地*(17) 様似町栄町*(15) 新ひだか町静内山手町(08) 新ひだか町三石旭町*(07) 浦河町野深(13) えりも町目黒*(09) えりも町えりも岬*(09) 幕別町忠類錦町*(15) 浦幌町桜町*(17) 更別村更別*(16) 広尾町並木通(16) 広尾町白樺通(15) 新得町2条*(05) 芽室町東2条*(06) 十勝池田町西1条*(13) 豊頃町茂岩本町*(06) 本別町北2丁目(05) 本別町向陽町*(06) 中札内村東2条*(07) 十勝大樹町東本通*(14) 釧路市阿寒町中央*(09) 白糠町西1条*(10)	42° 21.7' N	143° 06.3' E	51 km	M4.2
12	2025年 4月 19日 日高地方 十勝地方	06時08分 震度 1 震度 1	十勝沖 えりも町目黒*(06) 広尾町並木通(08) 広尾町白樺通(08)	41° 59.2' N	144° 20.8' E	21 km	M4.3
13	2025年 4月 20日 十勝地方	22時17分 震度 1	十勝地方南部 更別村更別*(08)	42° 21.0' N	143° 06.3' E	49 km	M3.4
14	2025年 4月 22日 日高地方	03時23分 震度 2 震度 1	十勝沖 えりも町えりも岬*(17) 浦河町潮見(11) 浦河町築地*(14) 様似町栄町*(07)	41° 48.5' N	143° 16.8' E	35 km	M4.0
15	2025年 4月 23日 渡島地方	07時21分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町*(10)	41° 01.3' N	143° 08.9' E	23 km	M4.5
16	2025年 4月 24日 上川地方	04時50分 震度 1	上川地方北部 上川中川町中川*(05)	44° 48.0' N	142° 08.9' E	0 km	M2.1

	年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (k m)	規模 (M)
17	2025年 4月24日 渡島地方	09時07分 震度 1	岩手県沖 函館市泊町* (13)	40° 22. 2' N	141° 53. 8' E	62 k m	M4. 4
18	2025年 4月28日 日高地方  石狩地方 渡島地方 胆振地方 十勝地方	15時37分 震度 2 震度 1  震度 1 震度 1 震度 1 震度 1	浦河沖 浦河町潮見(16) 様似町栄町* (17) 新冠町北星町* (11) 新ひだか町静内山手町(12) 新ひだか町静内御幸町* (11) 新ひだか町三石旭町* (11) 浦河町野深(08) 浦河町築地* (13) えりも町えりも岬* (06) 江別市緑町* (05) 函館市泊町* (12) 函館市川汲町* (08) 白老町竹浦(13) 浦幌町桜町* (09)	41° 53. 9' N	142° 29. 2' E	62 k m	M4. 2
19	2025年 4月28日 根室地方	22時56分 震度 1	択捉島付近 根室市落石東* (09)	44° 15. 6' N	147° 03. 0' E	100 k m	M4. 3

\*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。  
( ) 内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

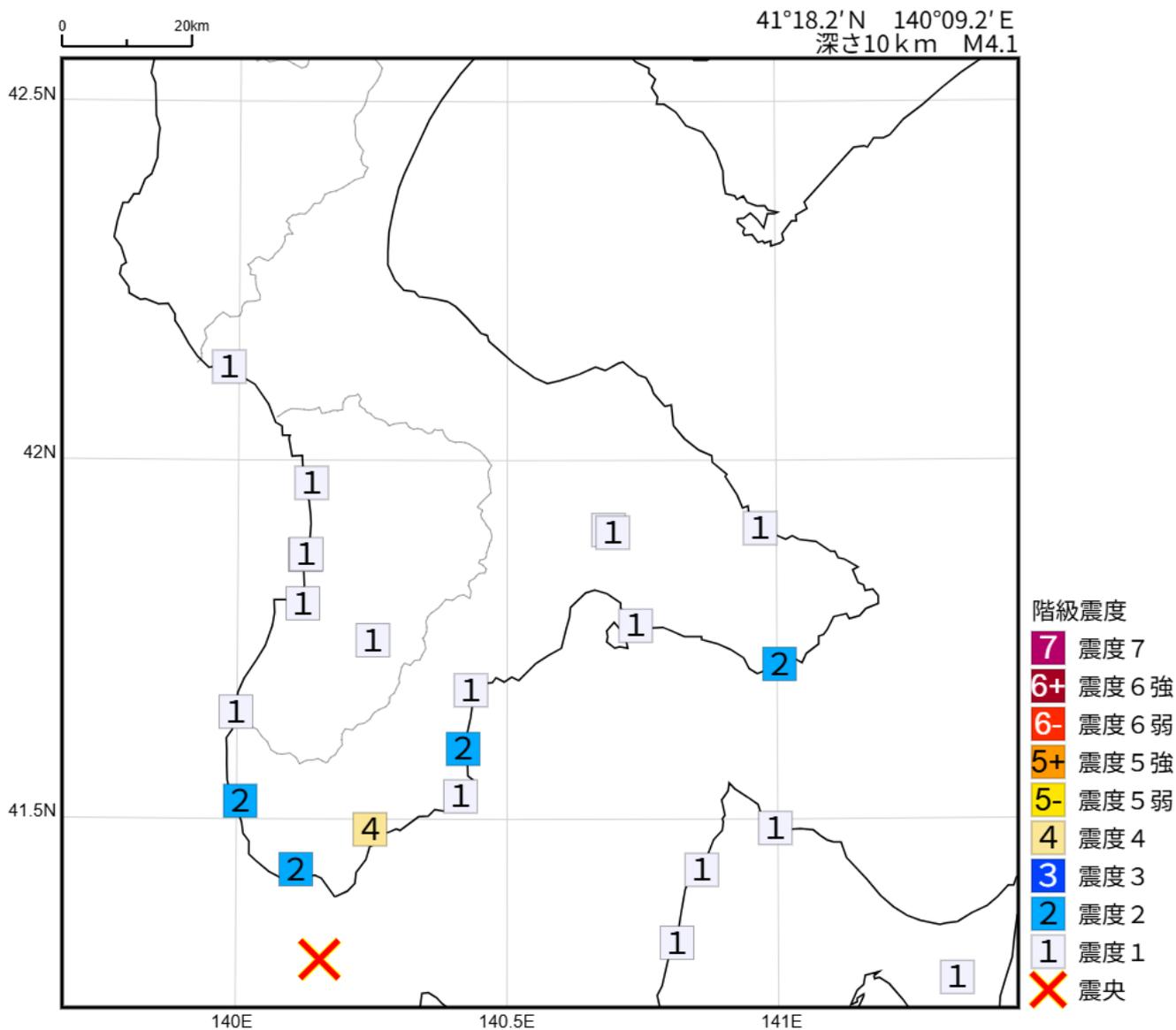
## 計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

## 本資料の利用にあたって

- ・本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

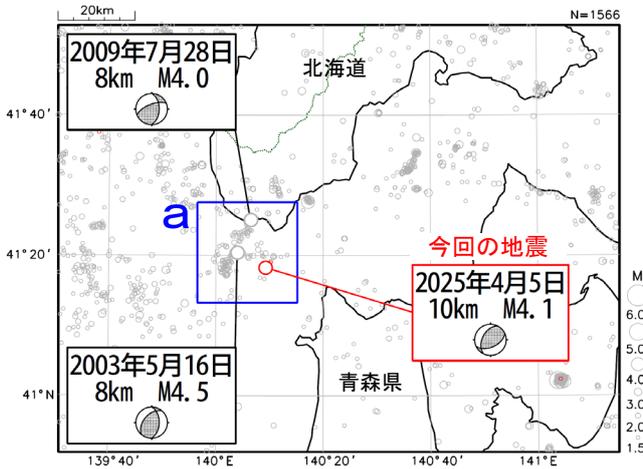
# 2025年 4月 5日 04時15分 北海道南西沖の地震の震度分布図



# 4月5日 北海道南西沖の地震

情報発表に用いた震央地名は「津軽海峡」である。

震央分布図  
(2001年10月1日～2025年4月30日、  
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$ )  
2025年4月の地震を赤色で表示

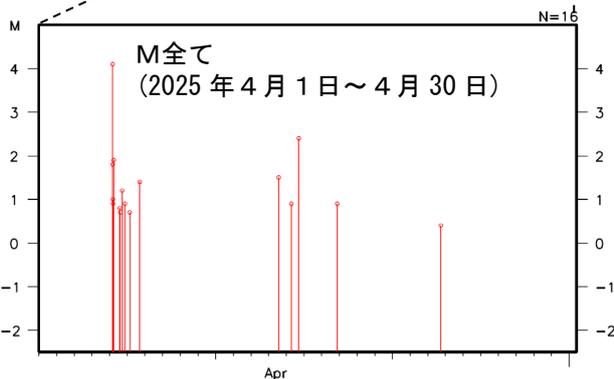
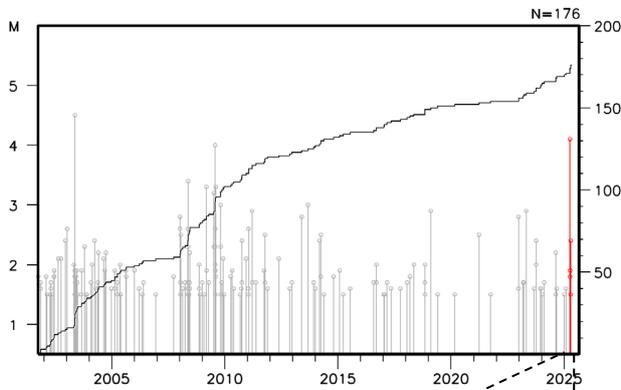


2025年4月5日04時15分に北海道南西沖の深さ10kmでM4.1の地震(最大震度4)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生し、発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

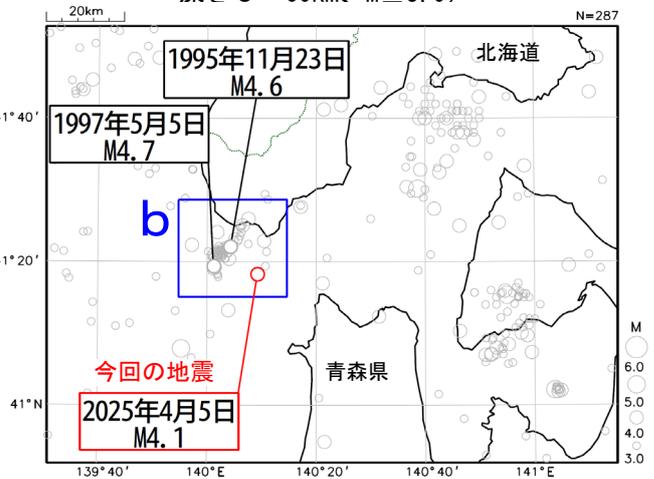
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M3.0以上の地震が時々発生しており、最大規模は2003年5月16日に発生したM4.5(最大震度3)の地震である。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域b)では、1995年10月から1997年5月にかけて地震活動が活発になり、1997年5月5日のM4.7の地震(最大震度3)など、震度1以上を観測した地震が多数発生した。

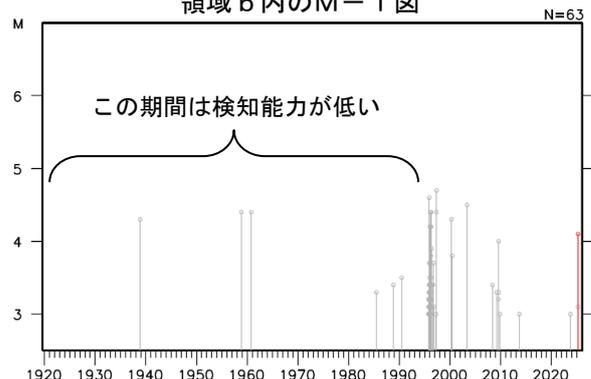
領域a内のM-T図及び回数積算図  
(2001年10月1日～2025年4月30日)



震央分布図  
(1919年1月1日～2025年4月30日、  
深さ0～60km、 $M \geq 3.0$ )



領域b内のM-T図



## 【防災メモ】

# ～北海道の地震活動図利用の手引き～

「北海道の地震活動図」は、北海道とその周辺で発生した地震の状況を月（または年）ごとにとりまとめた資料で、地震活動や震度の観測状況の把握、顕著な地震活動に関する情報の補完を主な目的としています。月間の資料は毎月10日頃、年間の資料は毎年1月に発表しています。

## 1. 構成について

地震活動図は、「震央分布図」、「地震概況」、「震度1以上を観測した地震の表」、「震度分布図」、「主な地震の解説」、「防災メモ」で構成しています。

## 2. 各資料の見方

### (1) 震央分布図

「震央分布図」は、当該期間中に発生し、震源が求まった地震の震央を地図上に記号で表示した図です（図1）。記号の種類で震源の深さを、大きさを地震の規模を示すマグニチュード（以下、Mと記載）をそれぞれ表します。震央分布図内の地震で以下の基準①を満たすものには、その地震の発生日時、Mを記載した吹き出しをつけています。これらを踏まえ、地震活動の活発さや、地震活動の少ない地域で発生しているかなどに注目してご覧ください。

#### 【基準①】

- ア 北海道の沿岸に大津波警報・津波警報・津波注意報を発表
- イ 北海道内の震度観測点で震度3以上を観測
- ウ 上記以外で注目すべき地震活動

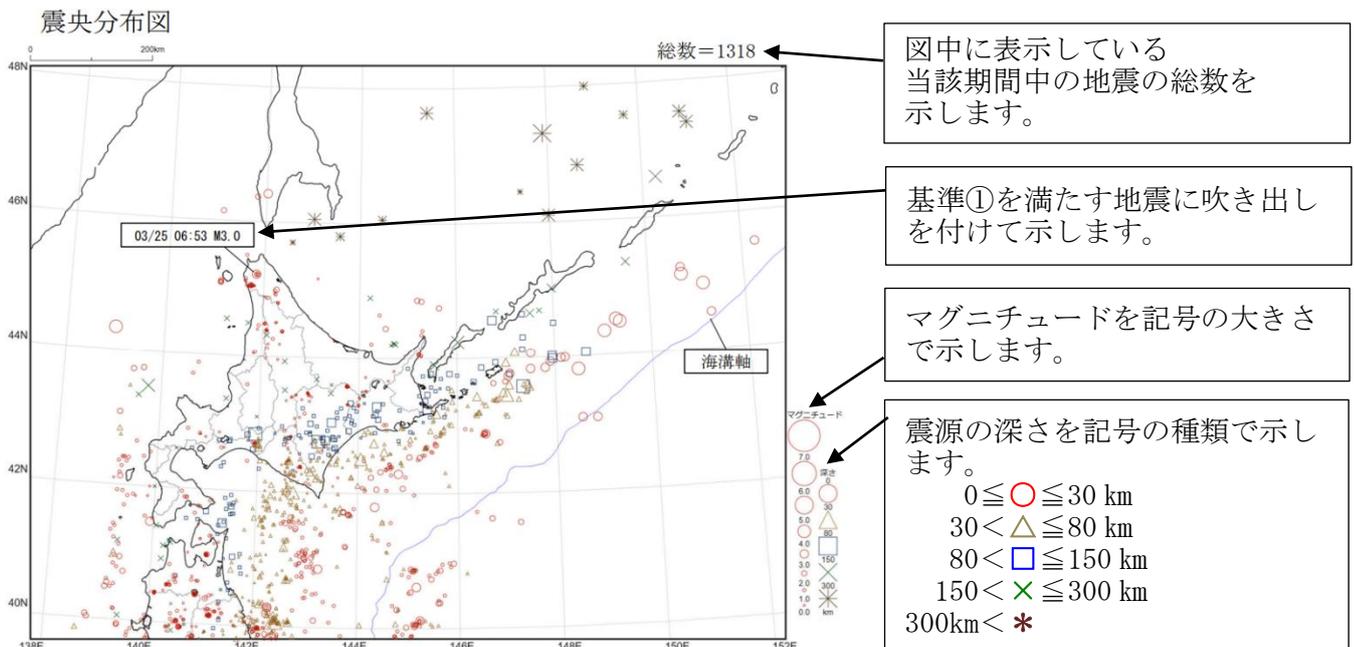


図1 震央分布図の例

※震度1に満たない（体に感じない）微小な地震も含め多数発生している様子がわかります。

## (2) 地震概況

北海道内の震度観測点で震度1以上を観測した地震の回数、及び基準①を満たす地震の概要（発生日時、震央地名（地震の発生した地域名）、M、深さ、道内で観測した震度、大津波警報・津波警報・注意報の発表状況など）を記述します。

なお、被害が生じた地震、大津波警報・津波警報・津波注意報を発表した地震、道内で観測した震度の大きい地震を優先して記述します。

## (3) 震度1以上を観測した地震の表

北海道内の震度観測点で震度1以上を観測した地震の一覧表です（表1）。ここには地震の発生日時、震央地名、震源の位置、M、各地方の震度、その震度を観測した震度観測点名（\*は気象庁以外の震度観測点）及び計測震度（0.1単位の詳細な震度、小数点を省略して記載）を記載しています。計測震度と地震情報などで発表される震度（震度階級）との対応は表2のとおりです。

表1 震度1以上を観測した地震の表の例

	年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (km)	規模 (M)
1	2025年 3月 5日 根室地方	21時06分 震度1	北海道東方沖 中標津町丸山*(05)	43° 34.3' N 根室市牧の内*(05)	147° 20.2' E 根室市瑤瑤*(10)	82 km	M4.6
2	2025年 3月 6日 根室地方	23時34分 震度1	根室半島南東沖 根室市牧の内*(06)	43° 10.6' N 根室市厚床*(05)	145° 34.7' E	51 km	M3.2
3	2025年 3月 8日 日高地方 十勝地方	12時31分 震度1 震度1	日高地方東部 浦河町潮見(06) 浦河町築地*(05) 芽室町東2条*(06) 幕別町忠類錦町*(12) 更別村更別*(09) 十勝大樹町東本通*(07)	42° 18.8' N	143° 02.8' E	50 km	M3.8
4	2025年 3月 8日 渡島地方 日高地方	16時12分 震度1 震度1	岩手県沖 函館市泊町*(11) 様似町栄町*(07)	40° 05.8' N	142° 24.4' E	39 km	M5.0
5	2025年 3月10日 石狩地方 空知地方 胆振地方 日高地方	18時18分 震度1 震度1 震度1 震度1	胆振地方中東部 千歳市北栄(05) 千歳市支笏湖温泉*(07) 恵庭市京町*(09) 由仁町新光*(05) 苫小牧市末広町(06) 厚真町鹿沼(10) 安平町追分柏が丘*(10) むかわ町松風*(13) むかわ町穂別*(10) 平取町振内*(09)	42° 39.4' N	142° 00.1' E	42 km	M3.2
6	2025年 3月11日 十勝地方  釧路地方	11時41分 震度2 震度1  震度2 震度1	十勝沖 幕別町本町*(16) 十勝池田町西1条*(17) 豊頃町茂岩本町*(15) 鹿追町東町*(05) 新得町2条*(09) 足寄町上螺湾(06) 足寄町南1条*(12) 帯広市東6条*(05) 幕別町忠類明和(08) 幕別町忠類錦町*(13) 本別町北2丁目(10) 浦幌町桜町*(13) 更別村更別*(10) 十勝大樹町東本通*(12) 広尾町並木通(14) 広尾町白樺通(11) 弟子屈町弟子屈*(17) 標茶町塘路*(15) 弟子屈町美里(11) 釧路市幸町(08) 釧路市黒金町*(12) 釧路市阿寒町中央*(10) 釧路市音別町中園*(13) 釧路町別保*(07) 厚岸町尾幌(08) 浜中町茶内*(07) 標茶町川上*(09) 鶴居村鶴居東*(08) 白糠町西1条*(12)	42° 30.4' N	144° 03.2' E	71 km	M4.4

表2 計測震度と震度階級の対応表

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

#### (4) 震度分布図

北海道の震度観測点で震度3以上を観測した地震の震度分布図です(図2)。なお、震度3以上を観測した地震が多い場合には、道内で観測した震度の大きい地震を優先して掲載します。

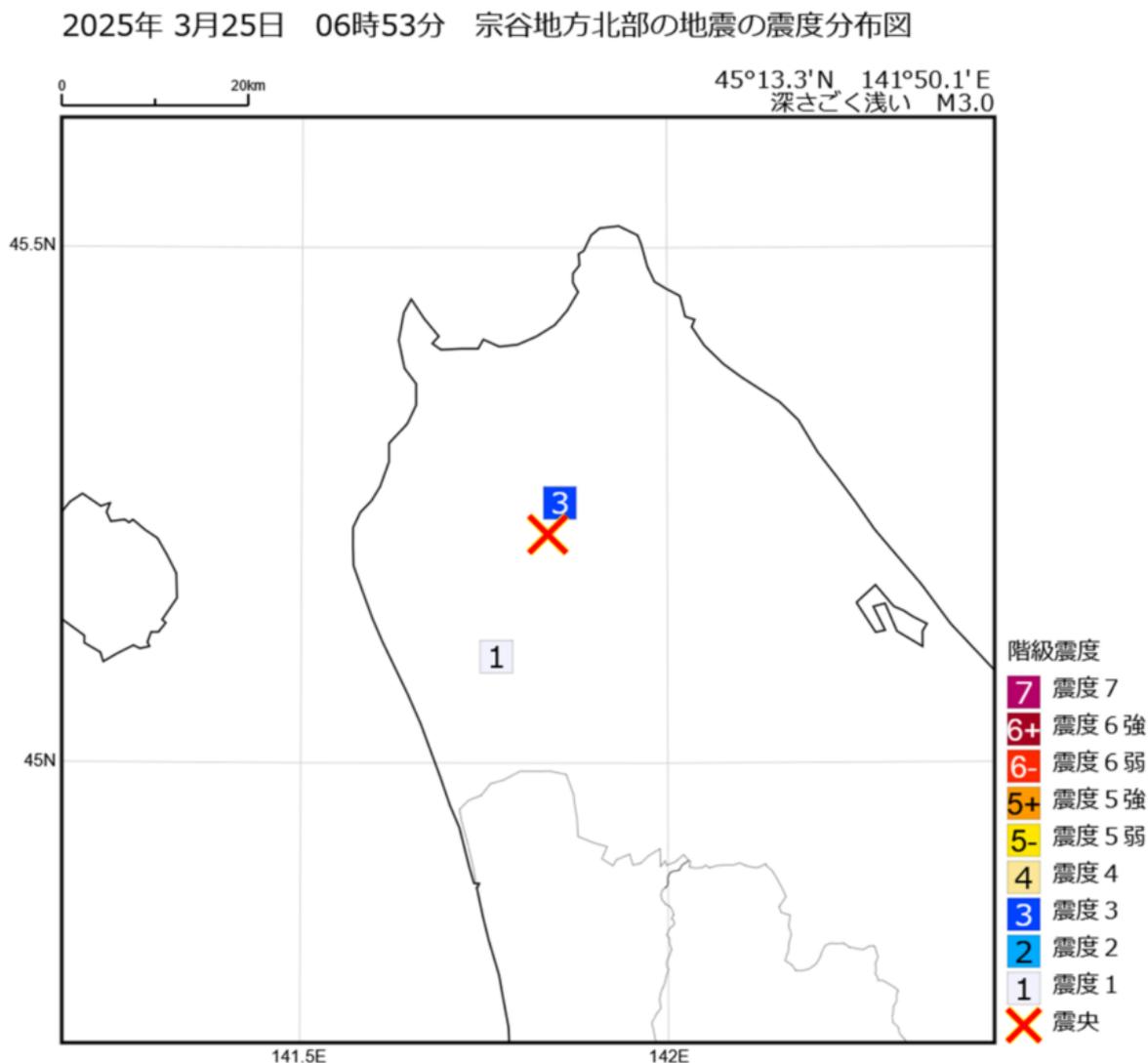


図2 震度分布図の例

#### (5) 主な地震の解説

以下の基準②を満たす地震が発生した場合は、その地震について「主な地震の解説」のページの中で詳しく解説します。ここでは過去に付近で発生した地震についても取り上げ、その概要や被害などを記載しています。社会的に影響の大きい地震を調べる際などにご活用ください。

##### 【基準②】

- ア 北海道の沿岸に大津波警報・津波警報・津波注意報を発表
- イ 北海道の震度観測点で震度4以上を観測
- ウ 上記以外で注目すべき地震活動

○「主な地震の解説」に掲載する図について

a. 震央分布図（図3）

基本的な見方は「(1) 震央分布図」のとおりですが、ここでは震源の深さに関係なく同じ色の記号を使用し、当該期間中の地震を赤で表示します。多くは図3の青枠のように領域を限定し、以降の図で領域内の地震について詳しく見られるようになっています。

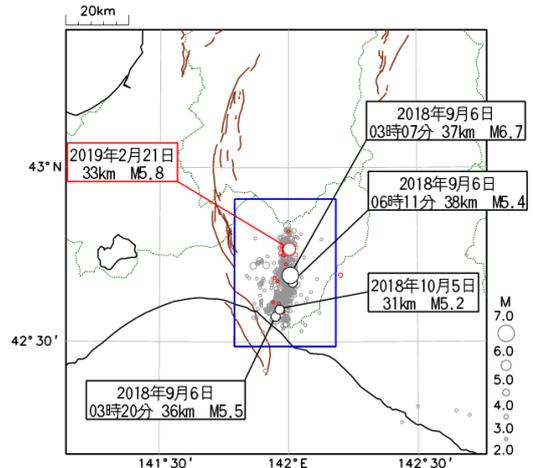


図3 震央分布図の例

b. 断面図（図4）

地震活動を理解するためには、震源の分布を詳しく観察することが必要です。断面図は震央分布図で設定した領域中の震源の鉛直方向の分布を見るための図で、震央分布図と併用することで震源の空間的な分布を把握することができます。

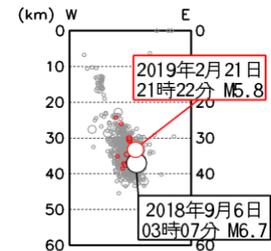


図4 断面図の例

c. 地震活動経過図及び回数積算図（図5）

いつ、どんな規模の地震が発生したかを把握するための図が地震活動経過図で、縦棒のついた記号で1つの地震の発生時間(横軸)とM(左縦軸)を示しています。回数積算図は地震総数の推移を見るためのグラフで、図中の折れ線がそれにあたり、右縦軸が地震総数の数値を表します。

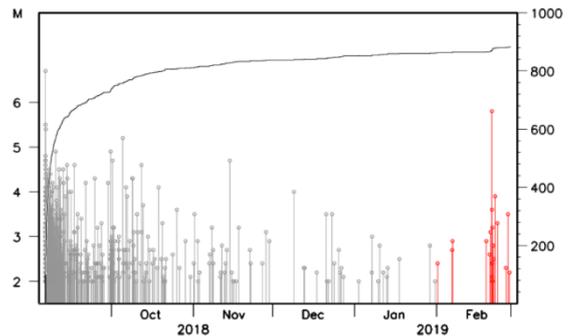


図5 地震活動経過図及び回数積算図の例

(6) 防災メモ

「防災メモ」では、地震・津波の基礎知識や気象庁が発表する地震・津波に関する防災情報など、様々なテーマについて紹介しています。覚えておいていただきたいことを分かりやすく解説しますので、ぜひご一読ください。また、職場やご家庭などで回覧して身近にいる方と一緒に防災知識を深めていただければと思います。

### 3. 地震活動図で使われる用語について

#### (1) 「震源」と「セントロイド」の違い

気象庁が普段発表している「震源」とは、地震の断層の破壊が始まった地点を示したものです。一方で、セントロイドの位置とは、地震の断層運動を1点で代表させた場合のその位置を表しています。これは気象庁が普段発表している「震源」とは意味が異なるもので、震源とセントロイドの位置は普通一致しません（図6）。地震観測網から離れた沖合海域などで発生した地震では、震源の深さを十分な精度で求められない場合があり、そのような地震を地震概況で取り上げる場合にセントロイドの深さを記載することがあります（データの一貫性を確保するため、震度1以上を観測した地震の表や震度分布図などでは通常の計算結果による震源の深さを記載します）。

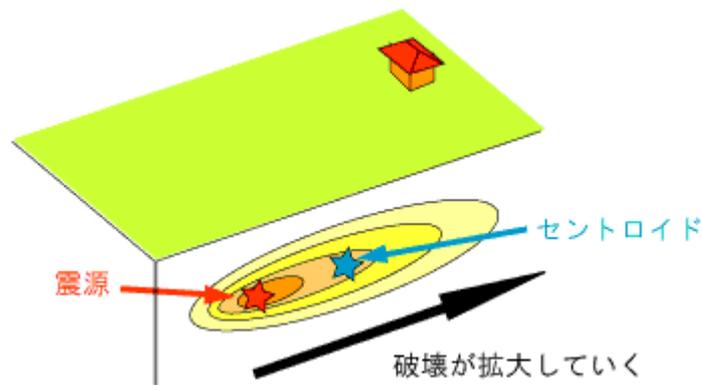


図6 震源とセントロイドの模式図

#### (2) CMT 解

前述のセントロイドは、CMT (Centroid Moment Tensor) 解析により求められます。観測された地震波形を用い、セントロイドの位置と時刻、規模（※）、及び発震機構（メカニズム）を同時に決定する解析法で、これら解析結果をまとめてCMT 解と呼んでいます。なお、計算には周期の長い地震波形を利用するため、地震の規模がある程度大きいものでないと解析できません。

##### ※モーメント・マグニチュード

地震による岩盤のずれの規模を基に算出されるマグニチュード。  
地震波形から算出している通常のマグニチュード（気象庁マグニチュード）とは異なる。

これらの用語について、詳しくは以下のページ（気象庁ホームページ）をご覧ください。

[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/mech/kaisetu/cmt\\_kaisetu.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/mech/kaisetu/cmt_kaisetu.html)